

# 食品企業における生産性向上や経営合理化の実態調査(アンケート調査)

令和6年度当初サステナブル食品産業モデル推進事業のうち食品産業経営合理化推進事業

## 調査の趣旨

- 食品製造業のスマート化には、生産性向上や経営管理・製造部門全体を考慮した経営合理化が必要。
- 食品製造業における生産性向上や経営合理化の取組状況や今後の意向、取組における課題と問題点についてアンケート調査を行い、今後の施策の検討に資する。

## 調査内容

**中小・中堅**の食品・飲料製造全業種約**4,000社**を対象に電話で聞き取り調査⇒**809件**を回収

### ●アンケート先リスト

業種	回収数
091 畜産食料品製造業	83
092 水産食料品製造業	95
093 野菜・果実缶詰・保存食料品製造業	72
094 調味料製造業	67
095 糖類製造業	21
096 精穀・製粉業	29
097 パン・菓子製造業	73
098 動植物油脂製造業	28
099 その他の食料品製造業	-
0992 めん類製造業	48
0993 豆腐・油揚げ製造業	24
0996 そう(惣)菜製造業	54
0997 すし・弁当・調理パン製造業	49
その他	81
101 清涼飲料製造業	51
103 茶・コーヒー製造業	34
合計	809
従業員301~2000人(中堅企業)	72

### ●アンケート項目

- ① 経営における課題
- ② **経営合理化のために実施した具体的な取組**(企業間連携、M&A、間接部門のDX化・アウトソーシング等)
- ③ **生産性向上のために実施した具体的な取組**(製造工程・包装保管行程の自動化、製造委託、需要予測システム導入等)
- ④ ②、③による**成果**
- ⑤ ②、③が**利益率の向上などへの寄与度**(利益率向上、製造能力向上等)
- ⑥ ②、③の**評価、課題、問題点**(コスト増、特定の者への業務集中、効果が不十分)
- ⑦ ②、③について、**今後実施したい取組**
- ⑧ 経営合理化や生産性向上を図るために必要となる要素(導入コストの低減、成功事例の共有、行政の支援等)
- ⑨ 経営合理化や生産性向上が進んでいる業種、取組の参考になる業種
- ⑩ 経営合理化や生産性向上を実施していない理由(コスト負担、人員の不足、導入効果が不明確等)
- ⑪ **経営合理化や生産性向上のためのネック**(人材の不足、設備の老朽化、製造工程の見直しが困難等)

### ●スケジュール

